

## 若手研究者 海外派遣 報告

所属：国立がん研究センター中央病院 青木雅彦

参画事業：次世代がん医療創生研究事業

派遣先：National University of Singapore, Department of Biomedical Engineering

私は、今回 AMED がん研究課の海外派遣支援によりシンガポールに 11 月 12 日から 11 月 19 日まで派遣させていただいた（国立シンガポール大学工学部と Bilolidics 社）。研修期間中に CTCs に関連する分野を中心とした最新の技術を学んできたことが大きな収穫である。私にとって初めての短期留学であったため、出発前は不安もあったが、海外の研究者らと活発に意見交換・ディスカッションを行うことにより自身が掲げる研究における現在の問題点・改善すべき点（CTCs の分離および解析方法において）をより明瞭にすることができた。今後これらの問題点と改善点をクリアすることで CTCs 解析技術の開発に貢献することができると考える。今回は 8 日間と短い期間ではあったが、それでも通常の研究期間中には経験することができない海外の研究者らとの交流といった大変貴重な体験をさせていただいた。

帰国後にも国立シンガポール大学工学部と連携を密にとり情報を共有ながら継続して研究を行っていくことで、CTCs 解析技術の開発を推進していきたいと考えている。

今回の研修に於いて支援していただいた方々に心より感謝し、この経験をしっかり参画研究に寄与できるように一層精進していきたいと思う。

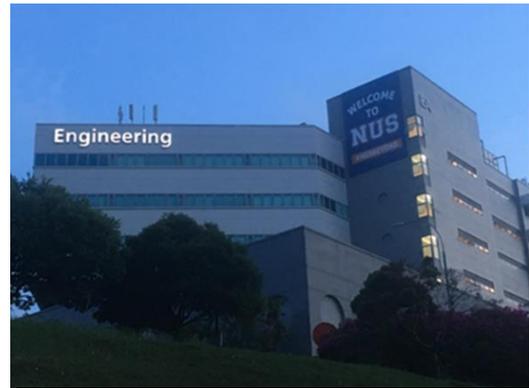


Fig.1 国立シンガポール大学  
(National University of Singapore)



Fig.2 国立シンガポール大学工学部  
Lim 教授の研修者らとの研究室内